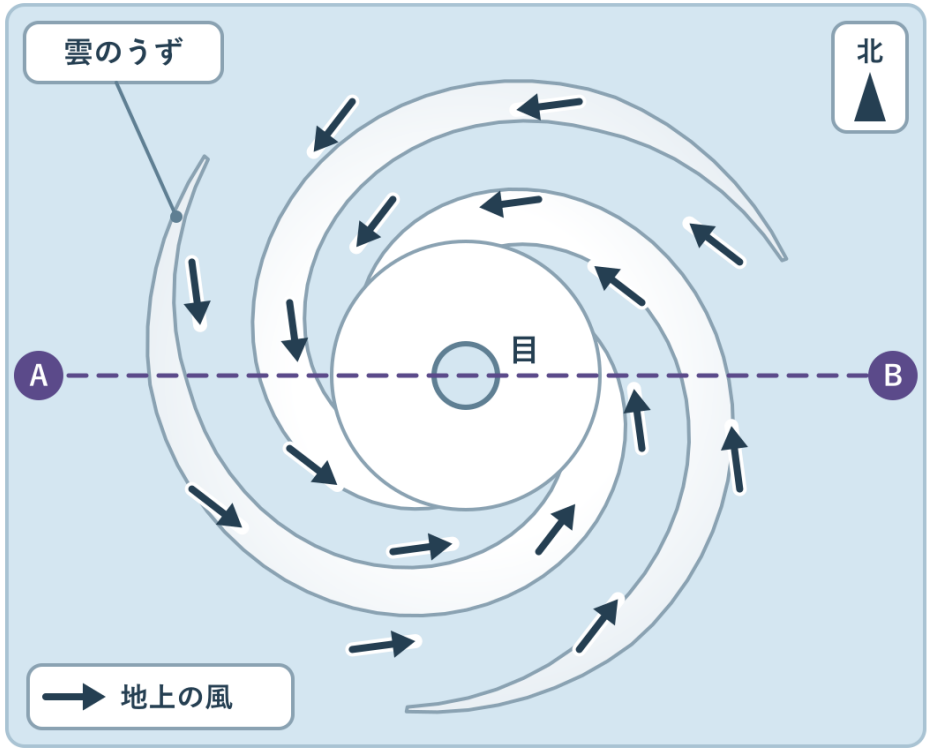
台風の雲のうずと風の向き

発展

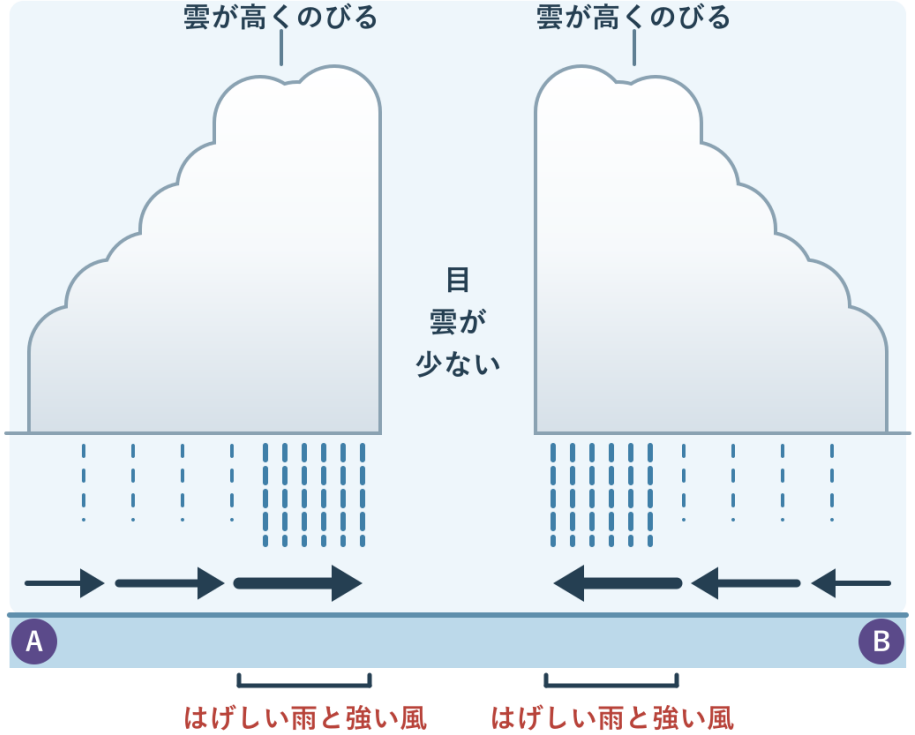
台風の雲はなぜうずの形に見えるのだろう。中心の近くではどんな天気になるだろう

上から見た図（雲のうずと地上付近の風）



上から見ると、風は時計の針と反対の向きに回りながら、中心へふきこむ。雲も風の流れにそって、うずの形にならんで見える。

横から見た断面（AとBを結ぶ線で切った図）



太い矢印ほど強い風。風は中心に向かってふきこむ。

中心の近くほど雲が高くのび、雨と風が強い。目の中は雲が少なく、風も弱いことが多い。

台風が近づいたら、気象情報を確かめて早めに備える。

※ 模式図で、大きさや雲の形は台風ごとにちがう。断面は、高さを広さより大きくのばして描いている。